

2009 年度事業計画

1. クリーンエイド活動

荒川クリーンエイドはゴミを種類別に調査・カウントしながら拾うことによっていろいろなことがわかり、拾う人にとっても良い気づきとなり、また、集計したデータによって、そのゴミとなった製品の製造・流通・販売・消費・廃棄の全てにかかわる改善などを提言が出来る。クリーンエイド参加団体には、このようなクリーンエイドの意義や実施方法について把握して頂き、参加者にも呼びかけて頂くことを周知していく。

これまでの秋のクリーンエイド前に1回だけ実施していた説明会を春にも実施することとした。2008年度から、通年でいつでも実施していただくことにしているが、秋のクリーンエイド以前に実施する団体で、特に初めて実施する団体や担当者が交代する場合などは必ず参加いただくようお願いしていく。

「指導者育成講座」は、春のクリーンエイド説明会に併せて4月に1回実施した。7月には安全講習会として、クリーンエイドや自然観察会等における安全指導を実施する。また、秋のクリーンエイド説明会の午前中にも「みんなの荒川クリーンエイド」としてクリーンエイド実習を行い、クリーンエイド実施団体リーダーがより安全でスムーズな会場運営ができるよう体制を強化する。

2. 水質調査

水質調査は、春と秋に2回実施する。春は全国一斉の6月7日(日)午前10時を中心に、荒川本流と流域各地の身近な川や池などで行う。調査項目は、全国一斉のものは、温度とCOD(低濃度)だけであるが、荒川流域はこれまで同様5種類の試薬(pH、COD、3種類の窒素)による調査と透視度の測定を行う。

秋はクリーンエイド時では各会場近く(川の流れの中心部か橋の中央部から採水)で実施する。

6月の調査では実施日が集中するので、地点別の比較が可能になり、また、秋のクリーンエイド時調査は一斉実施日を中心に10・11月に集中して実施され、季節的にも比較的安定しており、長年のデータの蓄積もあるので、貴重なデータとなる。

水質器材の透視度、採水器、温度計等は一昨年度までは無償で貸与してきたが、委託業務外となって財政的裏づけがなくなり、昨年度以降実施団体に実費で提供することとしている。

1. 流域交流

荒川上流域や荒川流域ネットワークと連携して、荒川クリーンエイドや水質調査に取り組む。

また、荒川の源流部、秩父市大滝へのエコツアーを引き続き実施する。

昨年度に引き続き、「荒川流域再生プロジェクト」による「天然アユ遡上支援活動」に参加する。東京湾で育ったアユが秋が瀬堰から遡上するところを捕獲し、アユが遡上できない菅間の堰の上流にマーキングしたアユの稚魚を放流して生息状況を観察するもので、アユを象徴として荒川を魚が行き交うことが出来る川にしようというキャンペーンを展開する。荒川再生シンポジウムへの参加も予定している。

4. 環境教育

なつやすみ水辺の楽校は、7月25日に葛西海浜公園西なぎさ(予定)にて実施する。

小中学校の環境学習については、荒川クリーンエイドの実施を含め水辺の学習をサポートする。高校の奉仕活動として荒川クリーンエイドを実施する場合は、荒川クリーンエイドの意義を十分理解してから参

加するよう事前学習の時間を取ることを勧める。担当する教師のみなさんが、クリーンエイド説明会に参加して指導に当たるよう呼びかける。

社員研修については、受け入れ体制をさらに整える。

5. 他セクターや全国・世界とつながる活動（参加・協力）

荒川下流部で活動する自然保護団体が集まって「荒川自然連絡会」を構成し、荒川下流河川事務所との間で「荒川自然懇談会」を行なっている。当フォーラムは、特に自然地とゴミの関係を明らかにし、市民参加によって自然地をより親しみやすい場所にすることを念頭に、引き続き行政に対し提言していく。

また、引き続き環日本環境協力センター（NPEC）の呼びかけに応じ、葛西海浜公園内東なぎさでのゴミ調査を継続するとともに、クリーンアップ全国事務局（JEAN）を通じて、世界の海洋ゴミ調査にも参加する。

6. 広 報

秋のクリーンエイドのリーフレットは、駅や公共施設などのラックに置くことを念頭に、形状を検討する。ポスターについては、費用対効果を考慮し、作成の有無から検討していく。

報告集は、これまでの体裁を一新し、データをコンパクトに集約し、クリーンエイドの意義や効果を有効に宣伝する内容のものを検討していく。

ホームページについては、実施団体の利便性を図る工夫（報告用紙やリーフレットのダウンロード等）を昨年に引き続き進めると共に、企業・学校等、団体タイプに応じた情報提供の仕方も更に検討する。

7. 運 営

新たなクリーンエイド実施希望の問い合わせの増加や事業の拡大に伴い、新たな協力者が運営に加われるようにするなど運営体制の強化を検討する。

2009 年度事業計画の概要一覧(案)

事業	活動名	計画概要	テーマ、内容など
1 クリーンエ イド活動	春のクリーンエイド	1～8月	
	秋のクリーンエイド	9～12月(一斉10月18日)	荒川下流域で年間50会場程度を予定
	クリーンエイド説明会	4月25日(実施済) 9月26日	クリーンエイド・水質調査等の趣旨・実施方法の説明等
	指導者育成講座	4月25日午後(実施済) 7月5日(日) 9月26日午後	クリーンエイド実習等 クリーンエイドと自然観察を含む安全講習会 クリーンエイド実習等
	報告会	12月5日を予定	中間データの紹介、ミニディスカッション等
2 水質調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月7日を中心に 全国一斉調査と連携	荒川下流域(一部江戸川流域)60地点程度実施予定
	秋のクリーンエイド時水質調査	10～11月 会場近くの橋 中央で採水、実施	春のクリーンエイド時は実施せず 荒川流域50地点程度で実施予定
3 流域交流	源流エコツアー	9月5・6日秩父市大滝	原生林散策、間伐体験、山村住民との交流等
	荒川流域再生プロジェクト	天然アユ遡上支援作戦、流域シンポジウム等を予定	荒川流域ネットワークと連携した活動とシンポジウム等への参加
4 環境教育	なつやすみ水辺の楽校	7月25日、葛西海浜公園 西なぎさ(予定)	親子を対象に自然観察等
	小中学校環境学習・高校奉仕活動等支援	通年	クリーンエイドと水辺の環境学習 事前学習の勧め
	社員研修プログラム	通年	クリーンエイドを活用した社員研修を支援する体制を整える
5 他セクター や全国・世 界とつなが る活動 (参加・協力)	行政・自治体とつながる活動	荒川自然連絡会と荒川下流事務所との懇談会など	荒川の河川ゴミや河川環境に関する行政への提言など
	全国や世界とつながる活動	「海辺の漂着物調査」やクリーンアップ全国事務局(JEAN)との連携	環日本環境協力センター(NPEC)の呼びかけに応じ、葛西海浜公園内東なぎさにて年4回実施予定、JEANへの情報提供。
6 広 報	ニュースレター	年4回発行予定	クリーンエイド、行事の案内・報告を中心に内容を充実
	ホームページ	随時更新	クリーンエイド、行事の案内・報告、当フォーラムの紹介など
	Eメールニュース	年6回配信予定	クリーンエイド、行事の案内・報告を中心に
	リーフレット	秋のクリーンエイドの会場等掲載	リーフレット沿川の駅のラックに置くことを想定した形態を検討 ポスター制作は検討中
	報告集		形態・内容・部数等検討中
7 運 営	第10回定期総会	5月16日 足立区生涯学習センター	記念講演:ふるさと東京を考える実行委員会代表理事 関口雄三氏
	振り返り・企画会(第1回連絡会)	2010年3月(予定)	2009年度の総括と次年度年間計画案について、会員・運営委員間で協議
	理事会・運営委員会	月1回程度随時開催	予算・決算の提案や当フォーラムの運営に関わる協議